

# 第3回広野町議会定例会 “幸せな帰町”への道のり

平成27年第3回広野町議会定例会が9月11日（金）から16日（水）までの会期で開催されました（12日（土）、13日（日）は休会）。初日の11日に、遠藤町長が第2回定例会以降の町政経過報告を行いましたので、主な内容の抜粋を掲載します。

## 総務課

本年2月から実施しております、**町長との懇談の日**につきましては、8月までに、述べ23組、29人の町民の皆さまと懇談をいたしました。懇談の内容につきましては、町広報紙の紙面にて、町民の皆さまへお届けたいたしております。



プレミアム付き商品券を販売

の目的が達成できました。

7月4日には、二ツ沼総合公園において「花いっぱい運動」を実施し、町民の皆様とサルビア、マリーゴールドの苗を園内の花壇に植栽いたしました。  
7月10日には、町とNECキャピタルソリューション株式会社が共同出資した合同会社ふくしま広野町メガソーラー発電所の新設工事の地鎮祭が現地にて行われ、関係者が工事の安全を祈願いたしました。  
7月30日には、議員の皆さまのご臨席を賜り、**広野町公設商業施設建築工事**の起工式を行いました。この施設は、**広野町における商**

6月23日告示、28日投票の**農業委員会委員一般選挙**が執行され、定員と立候補の届出が同数となったため、無投票となりました。7月10日に改選後初の**農業委員会**が開催され、任期は平成30年7月7日までの3年間となっております。  
8月26日に挙行いたしました、**町制施行75周年記念式典**には、高木経済産業副大臣、浜田復興副大臣等、多数のご来賓をはじめ、関係各位のご臨席を賜りまして、盛会裏に終了できましたこと、心より感謝申し上げます。当日は、約250人のご出席をいただき、特別功労表彰をはじめとした各種表彰の伝達を行いました。また、東日本大震災発災時に避難所を設置、町民の避難を受け入れていただいた自治体をはじめ、二次避難を受け入れていただいた、旅館やホテル、被災者支援等で本町に貢献いただいた方々へ感謝状の贈呈を行い、感謝の意を表しました。

6月23日告示、28日投票の**農業委員会委員一般選挙**が執行され、定員と立候補の届出が同数となったため、無投票となりました。7月10日に改選後初の**農業委員会**が開催され、任期は平成30年7月7日までの3年間となっております。  
8月26日に挙行いたしました、**町制施行75周年記念式典**には、高木経済産業副大臣、浜田復興副大臣等、多数のご来賓をはじめ、関係各位のご臨席を賜りまして、盛会裏に終了できましたこと、心より感謝申し上げます。当日は、約250人のご出席をいただき、特別功労表彰をはじめとした各種表彰の伝達を行いました。また、東日本大震災発災時に避難所を設置、町民の避難を受け入れていただいた自治体をはじめ、二次避難を受け入れていただいた、旅館やホテル、被災者支援等で本町に貢献いただいた方々へ感謝状の贈呈を行い、感謝の意を表しました。

**業環境整備に関する覚書**の締結先であるイオンリテール株式会社がキーテナントとして、スーパーマーケットを設置し、広野町商工会の会員事業所がクリーニング店、リフォーム店、飲食店をテナント出店するもので、町民が交流できる共有スペースも設けることとなっております。

8月19日と20日には、議員の皆様のご理解をいただき、復興庁岡本事務次官との**意見交換会**を、さらに東京電力株式会社廣瀬社長に対して**議会と町の合同での要望活動**を行いました。町が目指す幸せな帰町・復興への支援として、福島第一原子力発電所等の安全対策の徹底と着実な廃炉、適時適切な情報提供をはじめ、石炭ガス化複合発電（IGCC）設備の建設促進、将来を担う人材育成への支援などについて要望を行いました。  
8月26日、高木経済産業副大臣の立ち会いのもと、

これまで全国各地から寄せられた数多くの真心とご支援に報いるべく、復興へと歩む広野町の姿をご覧いただき、皆さまとの絆をより一層深めることができたものと考えております。町は現在、未曾有の複合災害からの復興という、歴史の転換期を迎えております。広野町の原形となる村の形成から126年、町制の施行から75年となる節目の年を迎え、改めて先人諸賢の培われてきた歴史に思いを寄せ、心からの敬意を表し「継往開来（けいおうかいらい）」のこころばを胸に刻み、来る困難を乗り越え、力強く前進する決意を新たにいたしました。町は本年を「ふる里復興・再生「成長の年」」と位置付けており、帰町という希望に向けて一歩一歩着実に復興への歩みを進めております。今後も双葉8町村の皆様とともに、更なる復興へと邁進（まいしん）していく所存であります。

株式会社レイスとの**企業立地調印式**を挙行し、「企業立地に関する確認書」を取り交わしました。株式会社レイスは、国の津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金を活用し、広野工業団地内に新工場を建設し、国内の製造拠点としてリップスティックなどの子ども用化粧品を年間約百万個製造する計画です。同工場は、経済産業省が進める**浜通りへの企業誘致促進プロジェクト**による企業誘致第一号であり、町としても、雇用や住民の帰町促進につながるものと期待をしております。

**町民保健課**  
6月28日、日ごらの運動不足解消のきっかけづくりとして、保健センター前をスタート・ゴール地点とした**第13回健康ウォーク**を開催いたしました。5キロメートル、8キロメートルのコースに、それぞれ自身の体力に合わせて約50人の



町制施行75周年記念式典

9月2日に行われた**選挙管理委員会**において、**町議会議員一般選挙**が11月5日告示、15日投票の日程にて執行されることが決定いたしました。同日には**福島県議会議員一般選挙**も執行されることとなっております。選挙管理委員会事務局をはじめ、万全の体制を整えて当たる所存であります。

## 復興企画課

町民の帰還実現に向けた**生活再建への支援活動**について、高木経済産業副大臣に対して6月15日には福島市にて、6月21日には本町に來町いただき、面談の中で



ひろの健康ウォーク

参加をいただきました。

7月3日および9月10日には、保健センターにおいて、福島県立医科大学の熊谷敦史先生を講師に迎え、乳幼児の保護者による**少数での放射線健康不安に関する意見交換会**を行いました。日常生活や子育てに対する不安などを話し合い、熊谷先生より専門的知見からのアドバイスなどをいただきました。今後も健康相談会や意見交換会などの機会を設け、正しい情報の提供に努め、日常生活での不安軽減を図ってまいります。  
7月7日から11日までの

要請いたしました。また、鈴木福島県副知事に対し、6月22日、7月9日と8月31日に福島県庁において同様の要請いたしました。

昨年12月に復興大臣からの指示により立ち上げられた、**福島12市町村の将来像についての有識者からなる検討会**について、今回、提言という形で取りまとめられました。今後は、県その他関係機関がよく連携し、市町村の意見を踏まえつつ、将来像の個別具体化・実現に向けて、速やかに取り組んでいくこととなりました。

町内における商品・サービス購入などの消費喚起を図り、東日本大震災と原子力発電所事故からの復興に向け、経済の活性化につながることを目的に、**ひろのプレミアム付き商品券**を、2500セット発行いたしました。広野町商工会に依頼し、7月1日に販売を開始いたしました。8月10日には完売するなど、初期

5日間、保健センターを会場に**総合検診**を実施し、約750人が受診されました。また、今回受診されなかった方の受診機会として9月27日、**日曜日にも検診日**を設けるとともに、**特定健康診査の未受診者**に対して電話による**受診勧奨**を行います。

## 福祉介護課

昨年度に引き続き「子育て世帯臨時特例給付金」及び「臨時福祉給付金」の2つの給付金が支給されることとなっており、「子育て世帯臨時特例給付金」につきましては六月より、「臨時福祉給付金」につきましましては8月より申請の受付業務を開始いたしました。また、介護保険法の一部改正に伴い、8月1日より一定以上の所得がある**上位所得者**の方は、サービスを利用したときの**利用者負担割合**が、1割から**2割へ引き上げ**られました。本町で